

令和3年度 第2回五泉市総合計画審議会 議事要約

日 時：令和3年10月28日（木） 9：30～11：30
場 所：総合会館 2階 第1会議室
出席者：委員19名
欠席者：阿部律夫 委員、横野恒明 委員、関塚政行 委員、浅井久美雄 委員、
澁谷隆 委員、金子義伸 委員、山田宜永 委員（7名）

1. 開会（事務局）

第2回五泉市総合計画審議会を開会する。

2. 会長あいさつ

第2回目ということで緊張せずにやっていきたいが、委員の皆さま、そうそうたるメンバーの顔ぶれを拝見すると、やはり緊張感が高まってしまう。前回と違った雰囲気の中で前回よりもよい意見が出ればと思うので、活発な議論にご協力をお願いしたい。

3. 本日の説明

審議の進め方について事務局より説明。

前回審議会にて保留となっていた件について回答。

■テーマ②：施策No.4

「体育団体育成支援事業」の事業費が実施計画上、令和4年度より30万円増額となっているが、理由は何か。

○事務局

清流の里ごせんライドの大会運営に関する実行委員会への補助金である。令和3年度についてはコロナ禍による規模縮小により補助金額が減少していたが、令和4年度より通常どおりの開催を予定するための補助金増額となる。

4. 議事

議事（1） 審議（後期基本計画について）

テーマ④～⑩について審議

[意見]

■テーマ④：施策No.10～13

●湯浅善章委員

施策 No.11 の成果指標について、待機児童数が実績も含め 0 人となっており、指標として不要ではないか。

施策 No.13 の成果指標、児童虐待相談件数の令和 2 年度実績はやや多くなっている。コロナ禍に起因する増加ではないか。

○事務局

待機児童数については、今後五泉市でも待機児童数が発生する可能性があり、子育て支援のため、引き続き 0 を目指すという意味合いで記載している。

児童虐待相談件数については、コロナ禍の影響がないとはいえませんが非常にシビアな問題であり、「コロナ禍による異常値だから仕方ない」と簡単に片づけるよりも、54 件という数値を捉えるためにも通常の記載としている。

●武井恒美委員

児童虐待や DV の件数について、例えば災害、感染症禍などの状況で増加するのは一般論としてはありうる。しかしながら、状況としては異常な状態ではあるものの、異常な状態だからと言って児童虐待や DV があってよいものではない。コロナ禍による異常値と記載すると、コロナ禍だからしょうがないと思っていると誤解される可能性があるため、異常値として記載してほしくない。

●松尾幸一委員

ファミリーサポートセンターの活動件数について、令和元年度、令和 2 年度と前年度比半数となっている。何か特別な理由があるか。

○事務局

大きな原因はないが、他の相談体制等が整ってきたことは 1 つの要因と考えられ、また、コロナ禍も大きな原因だと思われる。原因追及についても担当課に話をしておく。

●渡部久子委員

五泉市におけるヤングケアラーの現状、件数はどのようになっているか。

○事務局

そこまでのデータを持ち合わせていないため、次回回答したい。

●加藤恵子委員

出席委員の中に子育て世代の方がいらっしゃらない。議題を自分事として考えられるような方を委員とすることは考えなかったか。

ややテーマと外れるが、出生率上昇のためにはその前段階として結婚がある。結婚に導けるようなシステムがあればと思う。

○事務局

委員は各分野の団体宛てに依頼して推薦いただいている。年代や性別による指定はしていない。

結婚に導くための取り組みとして、施策 No.37 の「縁結び支援の推進」として事業を進めていく。

[意見]

■テーマ⑤：施策No.14～19

●桑原貞行委員

ゲートキーパーの養成について記載があるが、何人くらいの方、どのような方にゲートキーパーをお願いしているのか。

○事務局

そこまでのデータを持ち合わせていないため、次回回答したい。

●武井恒美委員

施策 No.18 について、前期基本計画では今後の取り組みに記載がある「自然災害への対応」が今回の計画では記載されていない。理由があるのか。

○事務局

新型コロナウイルス対応を優先する、という観点から記載を変えさせていただいた。施策にぶら下がる各事業においては対応することになると思う。担当課に意見として提供させてもらう。

●大楨彰吉委員

地産地消の推進について、学校給食での五泉市産の野菜等の活用が 1 ケタ%となっている。県からも園芸推進を求められているところである。本日の会議には JA 新潟みらいからも出席いただいているが、より一層活用を進めていただき、地産地消に資する給食にしていただきたい。

○事務局

JA 新潟みらいや生産者など多くの方の協力を得て実現できる取り組みであるため、この場で明確な方向性を示すことは難しい。農林課を含め担当課に意見を投げさせていただく。

●梅田恒栄委員

新型コロナウイルス感染症について、患者の受け入れ先は市内か、自宅療養者はいるのか。

○事務局

感染者の情報については市にも入ってきておらず、お答えできない。

●湯浅善章委員

禁煙対策の推進について、「未成年者」という表現は、民法改正により 18 歳未満を示すこととなるため、「20 歳未満」と記載を変えるべき。

施策 No.17 のグラフについて、最終年が令和 7 年度となっている。成果指標の目標年と記載を合わせてほしい。

施策 No.19 の現状と課題に記載のある「自立相談支援機関」の後ろに「(五泉市くらしの支援センター)」を加えてほしい。

○事務局

記載について担当課に確認する。

●松尾タカ子委員

障がいのある方が高齢者になった場合、相談機関は地域包括支援センターでよいのか。相談機関がわからない方が多いと思うし、行きづらい。また、案内する人も気持ちに沿った対応を心がけてもらいたい。住みよい五泉市となるためには、弱い立場の方にとって相談しやすい空気を作るのが一番大事だと思う。

○事務局

市民の方は相談機関、相談内容がわからない方は多いと思う。最初の相談窓口は市役所であることが多いと思うので、丁寧な対応について全課挙げて取り組んでいきたい。

●渡部久子委員

昨日、私のところに相談があった。夫婦で認知症の方がパニックになっておられたようで、地域包括支援センターに相談したところ、すぐ来てくれて対応してくれた。非常に助かった。

[意見]

■テーマ⑥：施策No.20～23

●大槻彰吉委員

防犯カメラの設置を支援とは、具体的に何をしているのか。

○事務局

町内会で防犯カメラを設置する場合に10万円を上限に補助金を交付している。令和2年度には寺沢に補助、令和3年度は緑町から申請があると聞いている。

●樋口副会長

施策 No.20 の成果指標「市内の太陽光発電設備の導入状況」について、“一般市民の”導入状況や蓄電池設備の状況など、エネルギーの自給を目指す指標にした方がよいのではないか。

○事務局

この指標は事業者、一般市民を含む設備の導入状況を対象としている。設備の目的を限定しているものではない。

●松尾幸一委員

村松公園通り（県道）は交通量も多く、通学路でもある。高齢化が進み、降雪時の除雪に大変苦労している。消雪パイプがないため、県に対して設置の要望をお願いしたい。

○事務局

ほかの道路も含めて県には要望しているが、県からは消雪パイプの新設は難しいと聞いている。昨年の大雪で緊急で排雪をしていることもあるため、県に対する要望を続けていく。

●伊藤昭一委員

市民意識調査を冬場を実施したことも原因としてあると思うが、自由意見欄には除雪に対する意見が多い。委員のみなさんからもぜひ意見を多く出してほしい。

●湯浅善章委員

前期基本計画で現状と課題に記載のあった再生可能エネルギーの項目が今回の原案では記載されていないが、必要な項目ではないか。

○事務局

記載は落としても対策を全くしないということではないので、ご理解をいただきたい。

[意見]

■テーマ⑦：施策No.24、25

●梅田恒栄委員

あんしんメールを読んでも安心できないとの声が聞こえる。コロナ関係など、知りたい情報がない。また、防災無線で市長メッセージが流れたと思うが、内容が明確でない。伝えたい情報、聞きたい情報を把握してメッセージを流してほしい。

○事務局

担当課に投げかけたい。

●川口幸平会長

防災無線は聞き取りづらい。市の広報用の自動車を活用することも必要ではないか。

●大槻彰吉委員

保育園や学校の統廃合で避難所が減少することもあり、地域によって避難所が遠い場合がある。川内からさくらアリーナに避難するなど、高齢者にとっては困難に感じられる。消防団が手助けするにも限界がある。対策を考えてもらいたい。

○事務局

いつ災害が起こるかわからない中、関係機関等と対策を検討していくよう担当課に伝えたい。

[意見]

■テーマ⑧⑨⑩：施策No.26～28

●桑原貞行委員

青少年健全育成の推進について、子どもが少なくなってきており、以前のような地域の盛り上がりがない。協議会の活動を通して支援を行っているが、市から直接町内会にお願いすることはできないか。

○事務局

一昔前にあった、子どもや大人と一緒に活動するような光景がなくなっていると感じる。意見については担当課に伝える。

●石田公生委員

青少年健全育成市民会議の運営委員をしている。子どもの数が減少しているのはどの市町村でも同じだと思う。子どもを増やす施策・政策をお願いしたい。

また、教職員の働き方改革が進んでいることで、定時後や休日の活動の協力を得にくい。加えてコロナ禍により活動自体に制限がある状態である。

●加藤恵子委員

7割以上の市民がボランティア等地域活動への参加がない、と記載があるが、その原因をどのように考えているか。

○事務局

市民に興味を持たれない、という点と市民にどのような活動があるか周知できていないという点の両方の原因があると思う。今後の課題として検討していくよう担当課に伝える。

●加藤恵子委員

外国籍市民には技能実習生の外国人も含まれると思うが、そのような方たちに五泉のよいところを見てもらえないのは残念。交流できるようなイベント、取り組みがあるとよいと思う。

○事務局

関係団体や勤め先との連携が必要だと思っている。また、コミュニケーションに課題はあるが、翻訳機の活用も検討した事業展開などを検討していきたい。

5. その他

- ・次回のスケジュールについて

令和3年11月4日（木）午前9時30分から開催することを確認。

6. 閉会

以上